

第 5 学年国語科（図書館活用スキル～年鑑の使い方）学習の流れ

指導者 T1 司書教諭 T2 学校司書 T3 担任

1 単元名 年鑑の使い方を知ろう（国語東書5 P160「さまざまな資料を活用しよう」）

2 ねらい（つけたい情報リテラシー）

○年鑑を使う 目次、索引を有効に使って、統計資料から情報を取り出すことができる。（松江市学び方体系表F-5）

3 本時の流れ

学習活動	指導者の支援 ☆評価			準備物
	T1 司書教諭	T2 学校司書	T3 担任	
<p>1 本時の学習のめあてについて知る。 * 5分 年鑑の使い方を知ろう 年鑑とは？おおまかに言うと…</p> <p>2 年鑑の全体構成を知る。 * 3分</p>	<p>「年鑑とは、『何年にこんなことがあった』とか、『何年のデータは』など、年ごとの情報が載っている本。今日は朝日ジュニア年鑑を使う。」</p> <p>「2人で1冊を使うよ。中を見てごらん。」</p> <p>「目次をあげよう。はじめはニュース、ミニ百科。年表。次に統計編。その中で日本と世界に分かれている。統計編に入らない部分は学習編とよぶ。年鑑は大きく学習編と統計編に分かれる。学習編は読むと知識が増える。今日は統計編の図表から情報を読み取る体験をするよ。」</p> <p>「統計編の中に、色を変えてある言葉日本列島とか国土と自然とか、これを大項目という。その下に並ぶ黒文字の言葉気候や建設、これを中項目という。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年鑑の提示 「分類番号は0類。」 「年鑑は毎年新しい情報を加えて発行されているよ。」 ・年鑑を配る。 ・説明にあわせ、投影機でうつす。 	<p>「国語P160のように、調べる本の中には図表（表やグラフ）が載っている本がある。今日は年鑑の使い方を学習するよ。」</p>	<p>国語教科書 「朝日ジュニア年鑑2014」20冊</p> <p>実物投影機 スクリーン 短冊</p>

<p>3 目次と索引それぞれの有効な使い方を 知り、みんなで一緒にやってみる。</p> <p>「 島根県に住んでいる人の数 」に ついて調べるとしたら…</p> <p>「 日本全体の、米のとれる量は 」 * 10分</p>	<p>「目次と索引をうまく使うことが大切。」</p> <p>●目次でも索引でも、まずキーワードを考えてみ るといい。例○島根、人口 ×住む、人、数、</p> <p>●目次から探す時<提示装置でうつしながら></p> <p>①大項目→中項目→小項目の順にしぼりこんで いく。㊦人口→㊦都道府県→P138にとぶ→</p> <p>②ページ上にも中項目→資料名が小項目→島根 のところを読む。</p> <p>*単位・調査年・調査機関も記録する。 *各都道府県データからも調べられる。</p> <p>●索引から探す時 キーワードから索引で探していく。</p>	<p>・問題と拡大ワークシートをはる</p> <p>・説明に合わせてマジックで拡大 コピーに結果等記入していく。</p>	<p>・ワークシートを配る。</p> <p>・個別支援をする。</p>	<p>問題を書いた貼り紙 ワークシート ワークシートの拡大 したもの マジック</p>
<p>4 練習問題をやりながら、引き方に慣 れる。</p> <p>・ 2人組で調べていく</p> <p>・ 目次からでも索引からでもよい</p> <p>・ 記録する</p> <p>・ 早く終わったら感想を書いて待つ。 * 20分</p>	<p>・やり方を説明する。</p>	<p>・個別支援をする。</p>	<p>・個別支援をする。 ☆引き方がわかったか。</p>	
<p>5 感想発表とまとめ * 5分</p>	<p>「年鑑は、社会科などで使うことが多い。開いて みると興味深いデータがたくさんあっておも しろい。使ってみよう。」</p>	<p>・図表が出ている本には、他に「統 計資料集」「〇〇白書」などがある。</p>	<p>・何人かの児童に感想を言 わせる。</p> <p>・ワークシートの回収 (司書教諭からコメント)</p>	